

WEEKLY

一宮

題字 PG 安野謙次

Rotary
一宮RC



The Rotary Club of Ichinomiya

●例会日 木曜日 ●例会場 一宮商工会議所 ●承認日 昭和24年12月31日

●事務局 ☎491-0858 一宮市栄4-6-8 一宮商工会議所ビル5階 電話(0586)24-1931

UNITE FOR GOOD

URL: <http://rc138.org>

E-Mail: rc138@lily.ocn.ne.jp



重文 「陵王」面 真清田神社蔵

2025年10月30日

第3654回例会

プログラム

イニシエーションスピーチ
角園 清君 重光裕文君

ロータリーソング「四つのテスト」

第3652回例会の記録
2025年10月9日(木)

会長挨拶

山上哲司

自民党の高市早苗氏が来週中にも日本憲政史上初の女性首相に就任する見込みです。高市氏は最も尊敬する人物として、イギリスの71代首相マーガレット・サッチャー氏を挙げています。彼女は「鉄の女」と称されましたが、1976年ソ連の国防機関紙に彼女が強固な反共産主義者で「ジェレズナヤ・ダマ」(ロシア語で鉄の女)であると紹介され、これをイギリスメデアが「Iron Lady」と報道し世界に広がったという経緯があります。尚、サッチャー氏本人は「鉄の女」の称号を悪く思っていなかったと言われております。

1982年、イギリスが領有権を主張するフォークランド諸島をアルゼンチンが占領した際、英国議会の慎重論あるいはアメリカのロナルド・レーガン大統領の和平提案を「侵略に屈してはならない」と断固拒否し、空母を含む精鋭部隊を現地に派遣し紛争を一気に決着させました。

さて、10月はロータリークラブ「米山月間」です。米山記念奨学会は日本で学ぶ外国人留学生に奨学金を提供し国際理解と平和に貢献することを目的としています。1952年、東京ロータリークラブの創設に尽力した米山梅吉氏の功績を記念して活動が始まり、これまでに129の国や地域から累計で2万人を超える奨学生を支援し、この活動を通じて日本で留学経験を積んだ多くの人々が国際社会で活躍しています。

本日は李 昱さんより卓話を頂きますが、米山記念奨学生の声の直接聞くことができる貴重な機会であり、大変楽しみにしています。

次回の予定

11/6 地区青少年交換委員会卓話
加藤謙一委員長
河本圭史委員 ベルト君

会 長	山 上 哲 司	会長エレクト	桑 原 英 寿
副 会 長	梯 國 彦	副 幹 事	吉 山 佐 人 規
幹 事	大 鹿 晃 裕	会報委員長	梅 谷 朋 志

ロータリーの友10月号

三嶋啓一郎

2頁、3頁にRI会長メッセージが掲載されております。今月は「地域社会の経済発展月間」ということで、南インドやカナダでの取り組みが紹介されています。そして、地域社会における経済的リーダーシップの重要性について、お話されています。さらに、5頁から「地域社会の経済発展月間」として、全国で活躍されているロータリアンの蔵元についてご紹介されています。さけづくりとまちづくりということで、蔵元として活躍されることで、様々な形で地域発展に貢献されている事例が載っております。

また10月は「米山月間」でもあり、よねやま親善大使の方のご紹介が載っています。また、各地区の寄付額などの情報も掲載されています。縦組み2頁からはシウマイで有名な崎陽軒の取締役会長野波直文さんより、崎陽軒の歴史と社業の教訓についての記事が載っています。全国的に有名なブランドと思いますが、崎陽軒としてはあくまで「ローカルブランド」を目指しているという記載が印象的でした。

委員会報告

ニコボックス

中島崇介

☆ 永井伸治君 金森貴史君(稲沢RC)

ガバナーノミニーを拝命しております永井伸治と次々年度地区幹事予定者の金森貴史です。この度、次々年度に地区大会ホストをお努めいただけることになり誠にありがとうございます。宜しく申し上げます。

☆ 森 克彦君

一宮法人会の社団化50周年記念式典並びに祝賀会が10月7日一宮商工会議所3階大ホールにて盛大に行われ、出席した喜びで。

☆ 高木道久君

久しぶりに皆様のお顔を拝見できる喜びで。

☆ 関戸 徹君

去る10月4日結婚40周年を迎えることができました。これはひとえに皆様のご高配のおかげなどでは全くなく、ひとえに私の忘却、忍耐、寛容の賜物です。今後とも私の修業を遠くから見守っていただけます様お願い申し上げます。

☆ 足立 誠君

ガバナーノミニーの稲沢RC永井伸治さんと次々年度地区幹事金森貴史さんをお迎えした喜びと交換学生ベルト君の例会出席の喜びで。

☆ 佐々木久直君 富田隆裕君

本日の例会に青少年交換留学生ヘルベルト・ザボーイ君をお招きした喜びで。

☆ 木村憲彦君 木村亮一君

本日米山月間卓話で米山記念奨学生李 昱さんをお招きする喜びで。

☆ 山上哲司君 大鹿晃裕君

本日は青少年交換留学生ベルト君、米山記念奨学生李 昱さんようこそ。李さんの卓話も楽しみです。また永井ガバナーノミニー、金森次々年度地区幹事をお招きしました。宜しくお願いいたします。

出席報告

ビジター出席数	2名
現在の会員数	110名
本日の出席数	60名
前々回の出席率	100%

***** プログラム *****

米山月間卓話

米山奨学生 李 昱さん

テーマ

満洲国「建国大学研究院」における
共産主義研究について



はじめに

- ・満洲建国大学研究院には、国家による知的統制の一環として、共産主義思想の研究と批判を目的とした「共産主義批判研究班」(＝反共研究班)が存在した。
- ・この研究班は、単なる思想批判にとどまらず、思想戦・治安政策への応用を意識した調査・翻訳・出版活動を展開していた。
- ・本報告では、この研究班の活動を通じて、建国大学研究院がいかなる知的役割を果たし、満洲国の政治的意図といかに結びついていたのかを明らかにすることを目的とする。

研究方法

- ・一次資料『研究院要報』、『研究院月報』、『研究期報』などの精読・比較分析
- ・研究班員の著作・講演・出張記録を整理して、その人物と行動の分析
- ・「思想戦」や「知的動員」の概念を用いた構想的分析

共産主義研究班の概要

- ・1939年2月8日作田荘一院長の召集により、研究院第一回委員会を開催、「共産主義ノ批判研究」は研究主題の一部を決めた。(要報:1939、6)
- ・石原莞爾の構想(1937年3月6日)
マルキシズム、帝国主義を克服しなければならず。このため、広く世界の天才的学者、革命的指導者を招聘し、批判と創意を活用し、研究に資することが必要『我觀石原莞爾』
- ・長野直臣(一期生)
松平教官の座談会で創立当時の色々の様子を語られた「満洲の最高学府としての見方と、共産党大学に対抗しての見方と(略)」

共産主義研究班

松山茂二郎－共産主義批判の理論的中核として活動

- ・建国大学助教授、九州大学経済学科卒業
- ・共産主義研究班班長を務め、研究企画・理論構築の中心を担う
- ・思想的アプローチの特徴
共産主義を単なる敵視ではなく「ロシア的救済宗教」として分析
マルクス主義がロシアでナショナリズムへ変質と指摘

共産主義の背後にあるユダヤ終末思想・英資本主義を批判

・学内外での発信と影響

全体研究報告会第16回、「共匪の勢力圏」
共産主義批判研究会第一回、「ソ連邦の世界政策」

第二回、「ソ連の対外政策の根本基調」

奉天夏期講座:「蘇連の政界政策と東亜連盟」を講演

満洲事情案内所より出版、政策機関とも連動

・評価と意義

共産主義批判を体系化し、思想的・政策土台を提供

「知的動員」に於ける典型的存在

戦時期大学の国家接続を象徴する理論家

井辺房夫－実地調査と中国共産党研究

・九州帝国大学卒業、建国大学助教授

・研究テーマ:国民党と中国共産党の関係分析

・蒙疆・華北に出張し、現地情報を収集(資料翻訳・報告書作成)

・戦中の諜報的に実務に接続された活動

筒井清彦－東洋思想を基盤とした共産主義批判

・京都帝国大学経済学会卒業、国民精神文化研究所員、建国大学助教授

・代表作「世界観の闘争」(『研究院月報』)

・世界観＝思想的武器と見做し

結びに代わり建国大学研究院一知的動員としての意義

・建国大学研究院は、満洲国の政治的意図と結びついて思想戦の知的拠点

・共産主義批判研究班は、理論・実務・文明論の多面的批判を展開

・松山:理論的枠組み構築

・筒井:皇道的世界観による文明論的批判

・井辺:中国共産党の実地調査と分析

研究の限界と今後の課題

・調査未了の班員あり(例:中神守司、井上長)

・重要資料が未入手(例:田川博明『反共読本』、松山茂二郎『共産主義批判の根本問題』)

・戦後知識人動向の追跡

・満洲外の「反共知」との比較(朝鮮・中国)

・協和会・満鉄などとの知的ネットワークの再検討

***** プログラム *****

第3653回例会の記録

2025年10月26日(日) 23日(木)の例会変更

社会奉仕委員会事業

「介助犬の認知度向上および普及促進」

びさいまつり会場内・クレストホール尾西



上記QRコードを読み取っていただくとICC街ネタプラス2025年10月27日放送分びさいまつりの様子が11月4日までご覧いただけます。是非ご覧ください。